

The Library in the world

ハンブルク大学図書館紹介

梶浦 桂司 (法学部助教授)

私は、2004年4月よりドイツのハンブルク大学法学部にて、客員教授として在外研究を開始し、もうすぐ2年目を終えようとしています(本原稿が掲載されている頃にはすでに帰国していることと思います)。ハンブルクは、一昨年までサッカー日本代表の高原直泰選手が在籍していたサッカーチーム、HSV(ハンブルガーSV)もあり、日本人にもかなりなじみがあると思います。また、ハンブルクはドイツ第二の都市であり、ドイツの北、エルベ川の北海河口約120 kmに位置し、街の中心部にはハンブルクの真珠と言われる「内アルスター湖」、「外アルスター湖」の2つの湖が横たわります。このアルスター湖から徒歩で10数分ほどのところにハンブルク大学があります。

現在の私の研究の拠点は、マックス・プランク国際私法外国私法研究所(Max-Planck-Institut für ausländisches und internationales Privatrecht)なので、このマックス・プランク研究所についても皆さんに紹介したいのですが、今回は大学の図書館の紹介ということなので、ハンブルク大学の図書館について紹介したいと思います。

ハンブルク大学は、6学部19学科から構成される総合大学で、約40,000人の学生が学んでいるドイツでも5番目の規模を誇る大学です。また、学内では、3,600人もの研究者が研究活動に従事し、150以上もの大学、並びに大学関連施設内(大学病院、同関連施設を含む)では7,000人以上の職員が働いています。

同大学キャンパス内外には、国立・大学図書館(Staats- und Universitätsbibliothek Hamburg)と65の学部・専門図書館(Fachbibliothek:以下、学部図書館とします)、ハンブルク大学大学病院医療中央図書館も含め多くの図書館があります。特に、国立・大学図書館(以下、大学図書館とします)は、同大学の中央図書館としての機能と、ハンブルクにおける公共の図書館としての機能とを併せ持っています。したがって、一般市民が同図書館を利用する事ができるのはもちろんのこと、学部図書館も利用する事が可能であり、所手続きをすれば館外貸出をすることも可能です。また、同大学では、この大学図書館を中心とし、すべての図書館で所蔵している約700万冊にも及ぶ書籍等を共有できるシステムを構築しています。

そこで、まず大学図書館についての簡単な紹介をした上で、私が普段比較的利用している法学部図書館についての紹介をしたいと思います。

大学図書館は、書籍を約300万冊、最新号の雑誌を約6,300冊所蔵し、毎年約5万冊の新刊書籍を受け入れています。ここ

には、すべての専門領域に関する基本的な文献が収められ、研究者を始め学生、一般市民のための研究、学習をサポートできるように整えられています。利用登録者は、年間5,000人程いるようで、そのうち約3,100人が実際に利用し、同図書館内の読書ホールには、毎年約45,000人の訪問者がいるようです。開館時間は、月曜日から金曜日までは9時から21時まで、土曜日は10時から18時まで、日曜日は12時から18時までとなっています。同図書館が、大学の中央図書館として機能する一方で、より専門的な文献については、各学部図書館が所蔵することによって、それぞれ機能を分担し合っています。

他方、法学部図書館は、法学部棟に隣接し、新館と旧館の2棟から構成されています。新館は、2003年1月から着工に取り掛かり、私が同年8月末から9月上旬に資料収集のためハンブルクを訪れた時には新館自体は完成し、図書館としてすでに機能していましたが、全ての工事が終了したのが2004年の夏 semester 終了後です。通りに面している外壁は、全面ガラス張りで、色付きガラスも用いられているため、夜になると館内の照明で照らし出され、非常に綺麗です。同図書館は、新旧館併せて全ての法分野に関する書籍を37万冊、最新号の雑誌を900冊所蔵し、法律関係のオンライン・データベースもおおよそ主要なものは全て利用可能です。また、同図書館内の座席は、新館600席、旧館400席の計1,000席あり、この全ての座席には、電源・情報コンセントが用意され、個人のノートパソコンの使用が可能であると同時に、インターネットへの接続も可能です。さらに、新館内には常時使用可能なパソコンが75台用意されており、非常に利便性が高いものとなっています。開館時間は、月曜日から金曜日までは7時から23時45分まで、土曜日は8時から23時45分まで、日曜日は10時から23時45分までで、毎日夜遅くまで多くの学生たちが図書館を利用しています。写真は、2007年1月2日夕方18時くらいに撮影したものです。2006年12月25日から2007年1月6日まではクリスマス休業(Weihnachtsferien)、日本で言う冬季休業の期間ですが、新年早々から図書館で勉強している学生たちの姿には頭が下がりました。

ハンブルク大学の
法学部図書館

